Chapter 22 : **トリック・オア・トロール、ダンジョン開幕**

新作F2Pインディーゲームのサーバーが騒がしく唸りを上げる。プレイヤーの画面に、新たな通知が光った。

| 【イベント開催中！】  
| トリック・オア・トロール ダンジョンラン！  
| 主催：ヤミラミ＆ゲンガー  
| 警告：ビックリ要素、罠だらけの宝箱、そして生ボス戦！

—

ブースター、シャワーズ、サンダース、そしてアブソルが一緒にログインし、「ヤミラミのカオスクローラー」と書かれたキューに入った。読み込み画面には、角をつけたヤミラミとゲンガーのドット絵が描かれており、巨大なお菓子袋と、明らかに爆発しそうな宝箱を抱えていた。

アブソル：「……正直、怪しい。警告タグの数がガラルの料理配信より多いんだが。」

ブースター（笑って）：「ガチャじゃないんだしさ。ただの混沌だよ。」

シャワーズ（リアルでソーダをすする）：「下水ステージさえ出なければ…」

—

◆ ダンジョン内部 ◆

一行がスポーンしたのは、幽霊音楽が流れる不気味なドット絵の森。最初の罠は「タダのお菓子」と書かれた宝箱で、開けるとゴム製のディグダが飛び出してくる。

サンダース：「へっ、こんなの楽勝だろ！」

次は「サブルラン」：無数のヤミラミNPCがバナナの皮、偽アイテム、本物のポッポのフンまで投げてくる狂気の廊下。

その時、不気味な笑い声が響いた。壁が闇に染まる。

| 「フフフフフ～……ここまで来たか。じゃあ、本当の“トリック”の始まりだ。」

ゲンガーが闇に包まれた姿で現れる。目が妖しく光り、頭には巨大なキャンディの王冠。

| 【生ボス登場：「キャンディキング・ゲンガー」】  
| スキル：トリックルーム、ドロップ舌、キャンディ爆撃  
| プレイヤー操作型。リスクに応じて報酬スケール。

アブソルと子どもたちはニヤリと笑った。

アブソル：「やっと来たな。腕が試されるタイプのボスだ。」

ブースター：「チームワークの力、見せてやろうぜ！」

—

◆ 戦闘中 ◆

ゲンガーが即興でセリフを叫ぶ。

| 「このキャンディはオレのもんだ！先に舐めたしな！」  
| 「あの罠？フフフ、もちろんワザとだよ？」  
| 「シャワーズ！ウォーターパルスで綿あめマントがビシャビシャだぞ！！」

—

３０分のドタバタカオスの末、ボスを撃破。ゲンガーは演技で気絶し、報酬がドロップされる。

| 報酬：トリックスターのマント（外見スキン）  
| 称号：「認定トロールバスター」

—

ボイスチャットに戻って、ゲンガーが笑った。

ゲンガー：「ふふっ、これマジで楽しかったな。詐欺もガチャもなし、ただ全力でトロール！」

ヤミラミ（得意げに）：「言ったろ？混沌は、みんなが笑ってこそ価値があるんだ。」

アブソル（静かに微笑んで）：「そして癒しにもな。」